



シャイネスが大学生の友人関係に 及ぼす影響

1

生活文化学科 07461199

安藤ゼミ 飯塚美帆

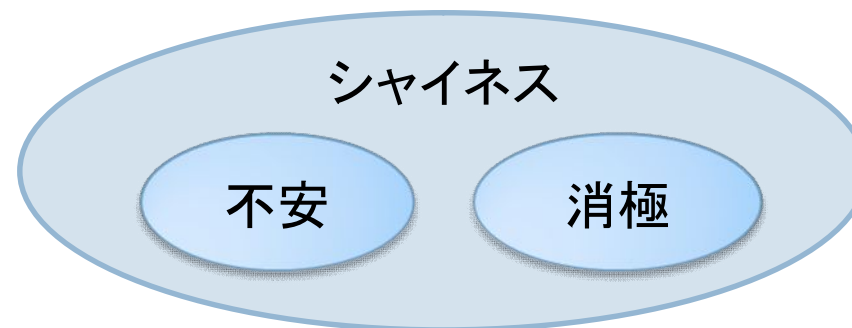
問題関心

- 岸本・増田(1989)
 - ・日本の大学生の80%「自分はシャイである」
 - ・そのうちの80%「シャイは問題だ」



シャイであることで、対人関係に悪い影響が出ている可能性

- 菅原(1998)
 - ・シャイネスの主要な要素は「対人不安」と「対人消極」
 - ・これら2つは異なる因子として抽出できる



目的

- シャイネスを「不安」「消極」の2側面から捉え、友人関係に及ぼす影響を検討する
- 具体的には以下のような点
 - ・現在どのような友人関係を築いているか
 - ・どのような友人関係を理想としているか
 - ・友人関係のネットワークの大きさに差があるか
 - ・友人関係に関する悩みを抱えているか
 - ・自分自身のことをシャイだと感じているか

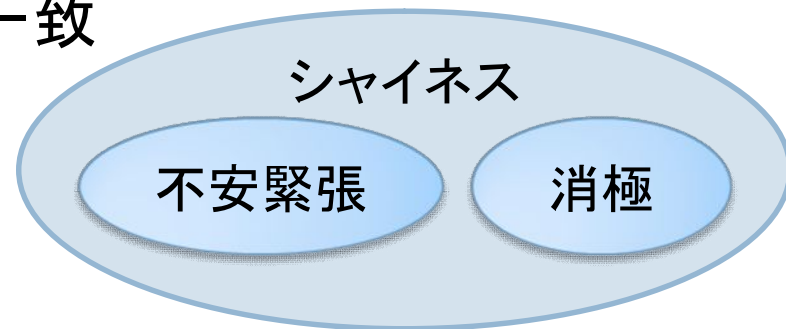
方法

- 女子大学生を対象に、質問紙によるアンケート調査を実施
- 調査時期:2010年7月～10月
- 150人に配布し111部回収
- 有効回答数は98部であった



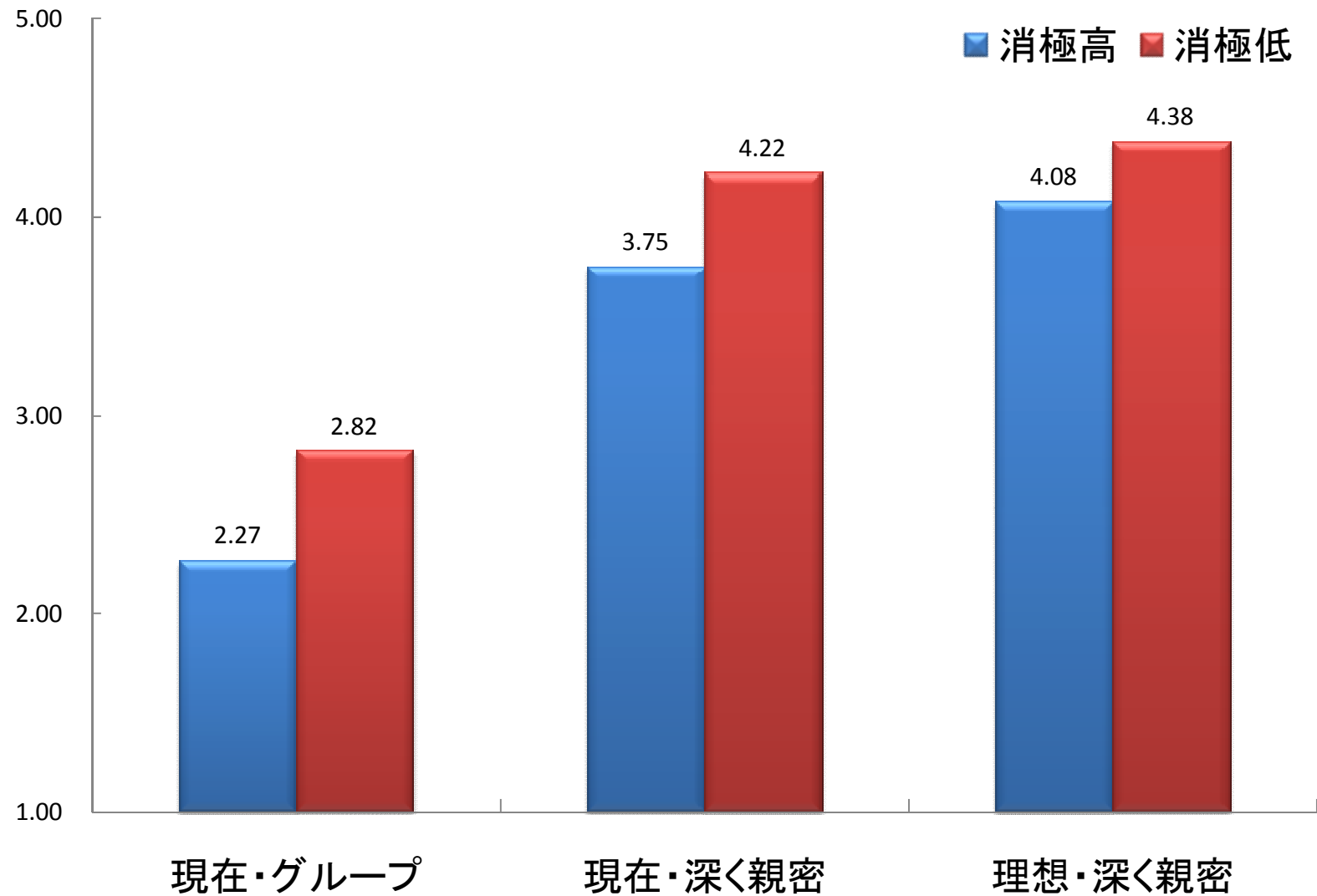
シャイネスの因子分析結果

- シャイネスは「不安緊張」と「消極」の2要素に分けることができた。→菅原(1998)とほぼ一致

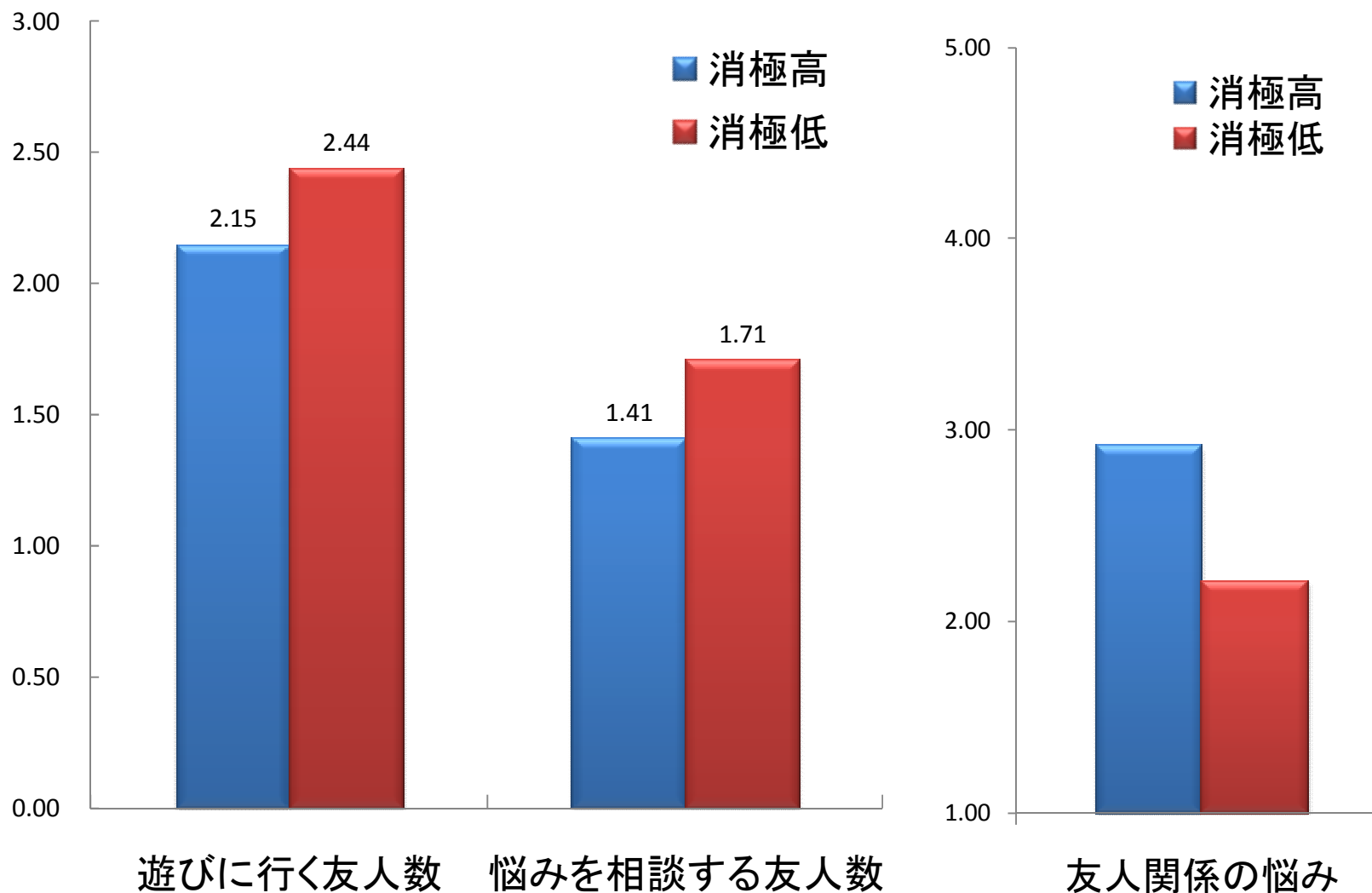


- 不安緊張: 人と接する際の緊張や不安
 - ・人に話しかけるのは緊張する
 - ・初めての人間関係の場ですぐに打ち解けられない、等
- 消極: 行動の消極性
 - ・友人と積極的にかかわることが少ない
 - ・いろいろな人間関係の場に顔を出すことが少ない、等

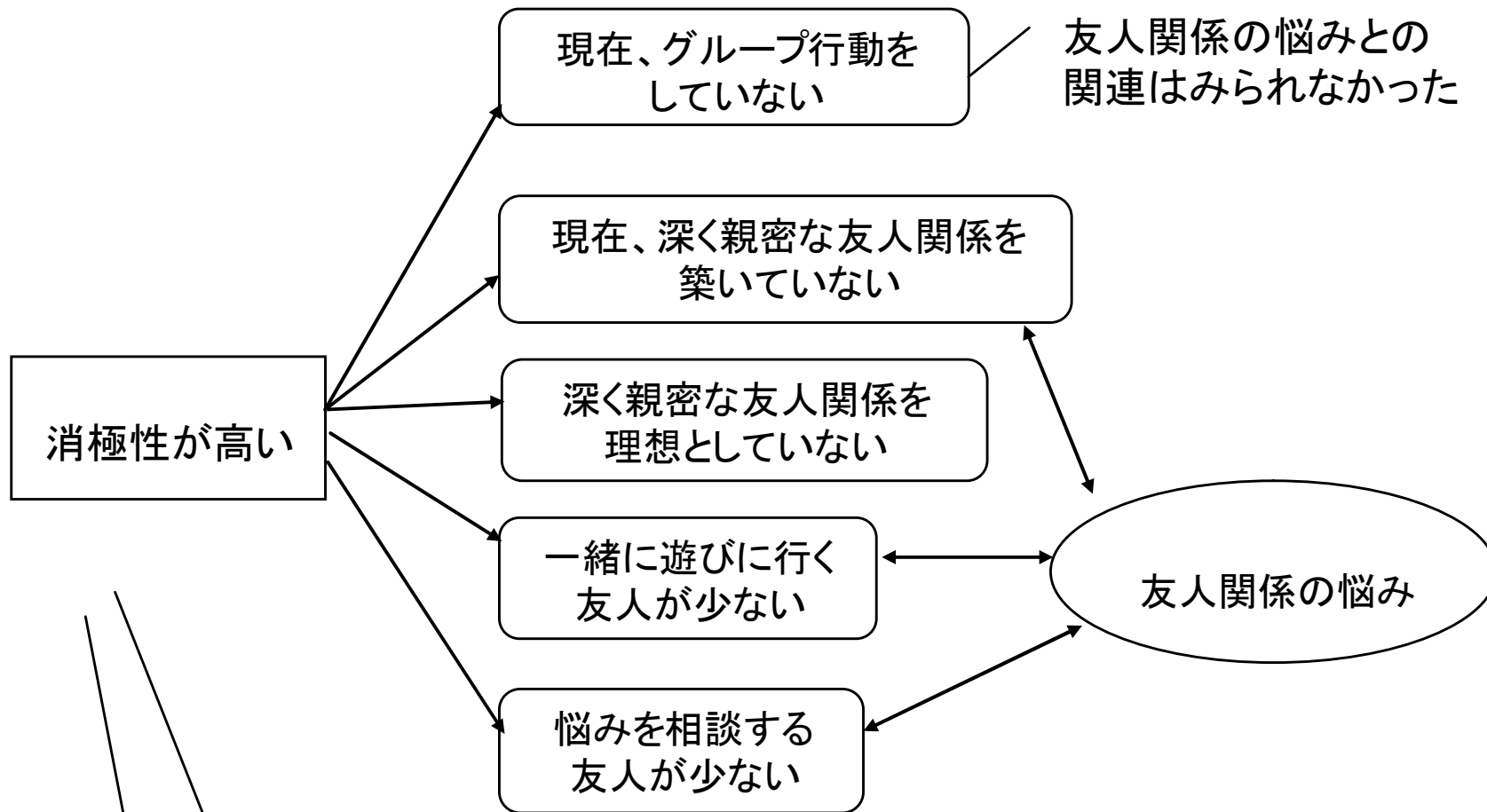
消極性が友人関係に及ぼす影響<平均値>



消極性が友人関係に及ぼす影響<平均値>



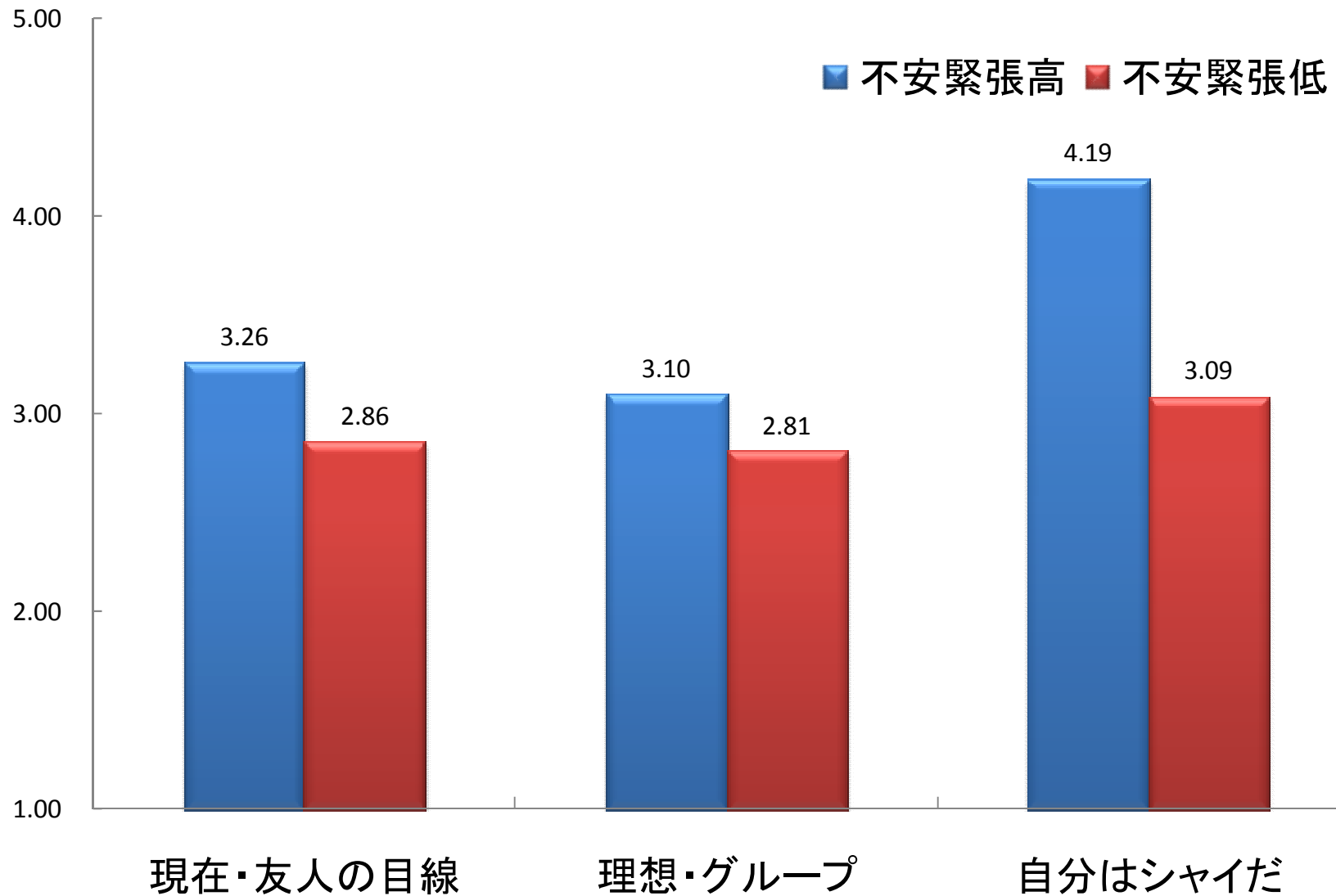
消極性が友人関係に及ぼす影響



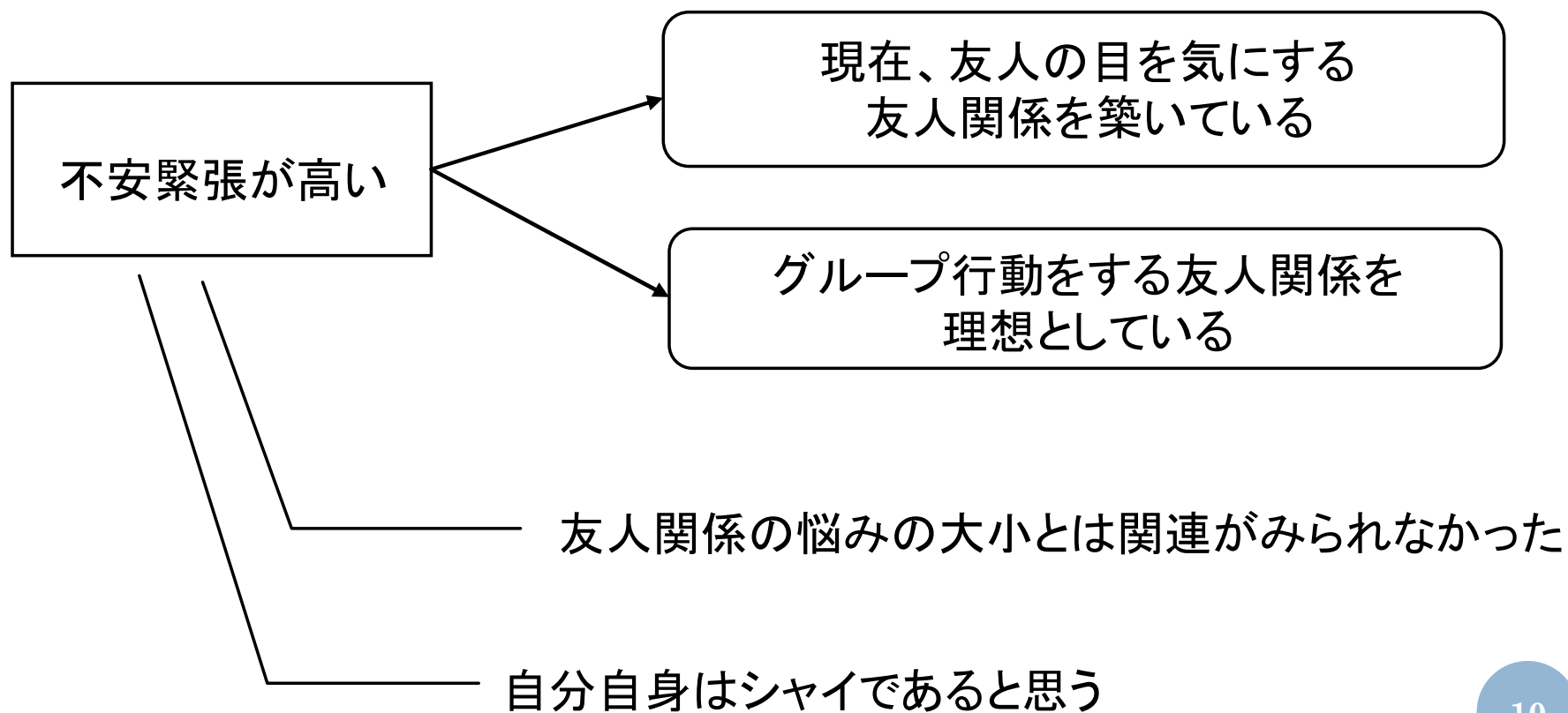
消極性の高い人は、友人関係の悩みを抱えていた

自分自身はシャイだと思うか、との関連は見られなかった

不安緊張が友人関係に及ぼす影響<平均値>



不安緊張が友人関係に及ぼす影響



結論

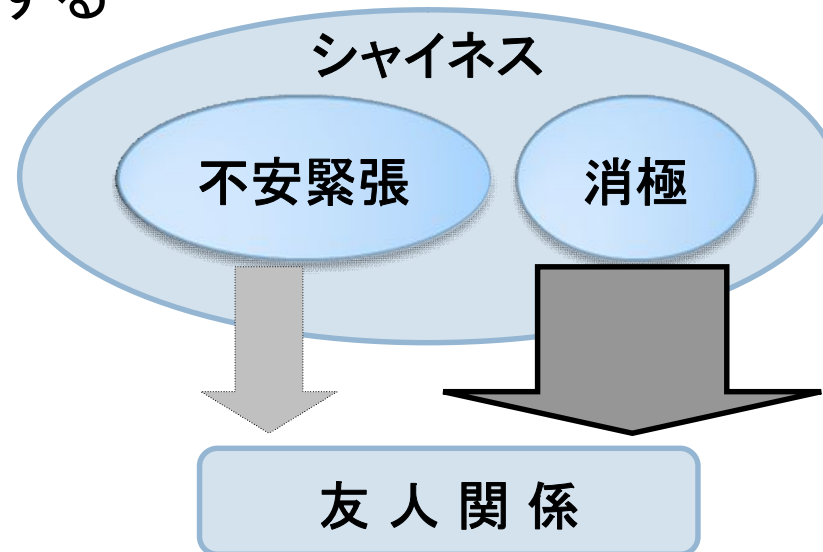
- 友人関係に及ぼす影響が大きいのは「不安緊張」より「消極」
- 消極性の高い人は、友人関係の悩みを多く抱えている



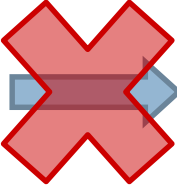
友人関係において、消極性が高いことは問題となりうる

さいごに

- 友人関係において、**消極性が高いことは問題**となりうる
- 不安緊張は高いが消極性は低い
➡ 友人関係に問題は生じない
- 不安緊張は高くても消極性を低くする
➡ 友人関係の問題は軽減する



さいごに

- 自分はシャイだと思う(意識)  消極性(友人関係で問題)



自分はシャイであると思っている人の中には積極的な人もいる



シャイだと思っけていても、積極的に行動できれば問題ない

